

平成30年度学校保健統計調査速報

徳島県統計データ課

この調査は、統計法に基づく基幹統計（文部科学省所管）として実施されるものであり、各学校において学校保健安全法により、毎年定期的に行われている健康診断の結果から、児童、生徒及び幼児（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的として、毎年全国一斉に実施されている統計調査である。

なお、この速報の数値は概数であり、後に文部科学省が公表する報告書の数値が確定値となる。

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童等の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

調査の範囲は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校及び高等学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）である。

調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（平成30年4月1日現在）までの児童等の一部である。

3 調査事項

- (1) 児童等の発育状態（身長、体重）
- (2) 児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無及び結核に関する検診の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無）

4 調査期日及び方法等

- (1) 平成30年4月から6月の間に実施された学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査した。
- (2) 調査の申告義務者は、調査実施校の長である。
- (3) 調査系統は、次のとおりである。

文部科学大臣 — 県知事 — 調査実施校の長

- (4) 調査は、標本抽出法により行っている。抽出手順は、次のとおりである。
 - ア 学校種別に児童等の数の累積和を求める。
 - イ その累積和を用いて調査実施校を抽出する。
 - ウ 発育状態調査については、抽出された学校から系統抽出により児童等を抽出する。
健康状態調査については、当該年齢の全児童生徒が対象となる。なお、標本抽出の結果得られた調査対象数は、次表のとおりである。

学校種別	調査実施校 (校・園)	発育状態調査		健康状態調査		全児童等数 (人)
		調査対象者 (人)	抽出率 (%)	調査対象者 (人)	抽出率 (%)	
幼稚園	31	1,061	27.4	1,280	33.1	3,867
小学校	57	5,424	15.2	22,016	61.8	35,645
中学校	37	4,413	23.8	13,692	73.9	18,534
高等学校	24	2,160	11.3	15,772	82.7	19,075

※「幼稚園」には幼保連携型認定こども園を含む。以下の各表において同じ。

「幼稚園」の調査対象者は5歳児のみのため、全園児数も5歳児のみの人数としている。

II 調査結果の概要

1 発育状況

(1) 身長

本県における児童等の身長平均値を年齢別にみると表1のとおりである。

全国平均と比較すると、男子は、8歳、11歳、12歳、17歳を除いた全ての年齢で全国平均と同じか上回っている。女子は、5歳、6歳、8歳、9歳、11歳、16歳で全国平均と同じか上回り、他の年齢では下回っている。

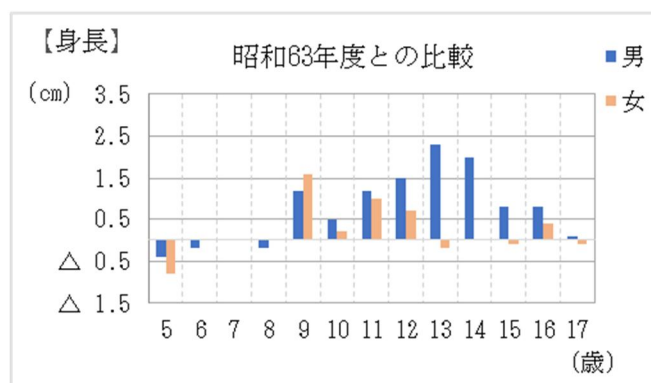
親世代である30年前の昭和63年度と比較すると、男子は、5歳、6歳、8歳を除いた全ての年齢で親世代と同じか増加している。女子は、5歳、13歳、15歳、17歳を除いた全ての年齢で親世代と同じか増加している。男子は13歳で2.3cm、女子は9歳で1.6cmと最も増加している。

表1 年齢別身長の平均値

(単位：cm)

区分		男子					女子				
		平成30年度			昭和63年度		平成30年度			昭和63年度	
		徳島県 A	全国 B		徳島県 C	A-C	徳島県 A	全国 B		徳島県 C	A-C
			A-B					A-B			
幼稚園	5歳	110.5	110.3	0.2	110.9	△ 0.4	109.4	109.4	0.0	110.2	△ 0.8
小学校	6歳	116.6	116.5	0.1	116.8	△ 0.2	115.9	115.6	0.3	115.9	0.0
	7歳	122.5	122.5	0.0	122.5	0.0	121.4	121.5	△ 0.1	121.4	0.0
	8歳	127.9	128.1	△ 0.2	128.1	△ 0.2	127.3	127.3	0.0	127.3	0.0
	9歳	133.8	133.7	0.1	132.6	1.2	134.2	133.4	0.8	132.6	1.6
	10歳	138.9	138.8	0.1	138.4	0.5	139.9	140.1	△ 0.2	139.7	0.2
	11歳	145.0	145.2	△ 0.2	143.8	1.2	147.2	146.8	0.4	146.2	1.0
中学校	12歳	152.5	152.7	△ 0.2	151.0	1.5	151.8	151.9	△ 0.1	151.1	0.7
	13歳	160.2	159.8	0.4	157.9	2.3	154.3	154.9	△ 0.6	154.5	△ 0.2
	14歳	165.9	165.3	0.6	163.9	2.0	156.0	156.6	△ 0.6	156.0	0.0
高等学校	15歳	168.5	168.4	0.1	167.7	0.8	156.8	157.1	△ 0.3	156.9	△ 0.1
	16歳	170.4	169.9	0.5	169.6	0.8	157.6	157.6	0.0	157.2	0.4
	17歳	170.5	170.6	△ 0.1	170.4	0.1	157.6	157.8	△ 0.2	157.7	△ 0.1

※年齢は各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。



(2) 体重

本県における児童等の体重の平均値を年齢別にみると表2のとおりである。

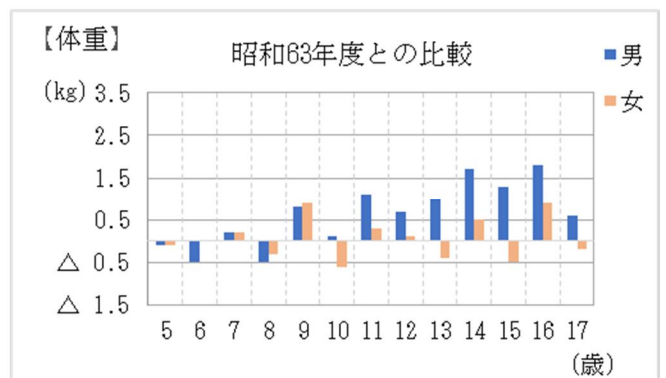
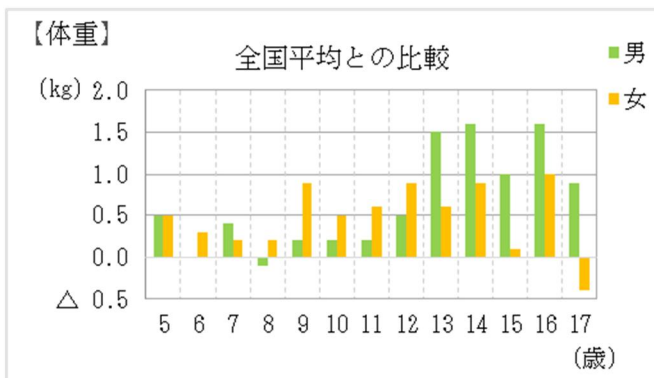
全国平均と比較すると、男子は8歳を除いた全ての年齢で、女子は17歳を除いた全ての年齢で全国平均と同じか上回っている。

親世代である30年前の昭和63年度と比較すると、男子は5歳、6歳、8歳、女子は5歳、8歳、10歳、13歳、15歳、17歳を除いた全ての年齢で同じか増加しており、男子は、16歳で1.8kg、女子は、9歳と16歳で0.9kgと最も増加している。

表2 年齢別体重の平均値

(単位：kg)

区 分		男 子					女 子				
		平成30年度			昭和63年度		平成30年度			昭和63年度	
		徳島県 A	全 国		徳 島 県 C	A - C	徳島県 A	全 国		徳 島 県 C	A - C
			B	A - B				B	A - B		
幼稚園	5歳	19.4	18.9	0.5	19.5	△ 0.1	19.0	18.5	0.5	19.1	△ 0.1
小 学 校	6歳	21.4	21.4	0.0	21.9	△ 0.5	21.2	20.9	0.3	21.2	0.0
	7歳	24.5	24.1	0.4	24.3	0.2	23.7	23.5	0.2	23.5	0.2
	8歳	27.1	27.2	△ 0.1	27.6	△ 0.5	26.6	26.4	0.2	26.9	△ 0.3
	9歳	30.9	30.7	0.2	30.1	0.8	30.9	30.0	0.9	30.0	0.9
	10歳	34.3	34.1	0.2	34.2	0.1	34.6	34.1	0.5	35.2	△ 0.6
	11歳	38.6	38.4	0.2	37.5	1.1	39.7	39.1	0.6	39.4	0.3
中 学 校	12歳	44.5	44.0	0.5	43.8	0.7	44.6	43.7	0.9	44.5	0.1
	13歳	50.3	48.8	1.5	49.3	1.0	47.8	47.2	0.6	48.2	△ 0.4
	14歳	55.6	54.0	1.6	53.9	1.7	50.8	49.9	0.9	50.3	0.5
高 等 学 校	15歳	59.6	58.6	1.0	58.3	1.3	51.7	51.6	0.1	52.2	△ 0.5
	16歳	62.2	60.6	1.6	60.4	1.8	53.5	52.5	1.0	52.6	0.9
	17歳	63.3	62.4	0.9	62.7	0.6	52.5	52.9	△ 0.4	52.7	△ 0.2



(3) 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

本県における肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率は表3のとおりである。

肥満傾向児の出現率は、男子では、6歳を除いた全ての年齢で全国値を上回っており、5歳と14歳で全国で2番目に高い。また、女子では、11歳と15歳を除いた全ての年齢で全国値を上回っており、10歳が11.52%と最も高く全国で3番目に高い。

痩身傾向児の出現率は、男子では、17歳が4.41%と最も高く、女子では、13歳が2.72%と最も高くなっている。

表3 年齢別肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

単位(%)

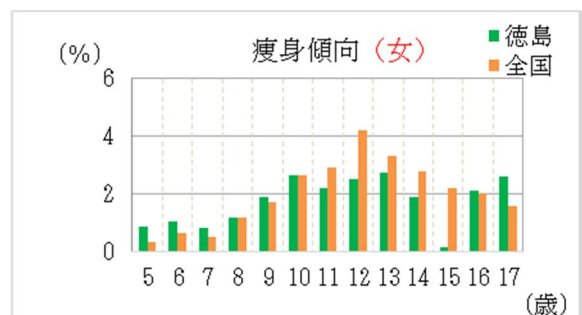
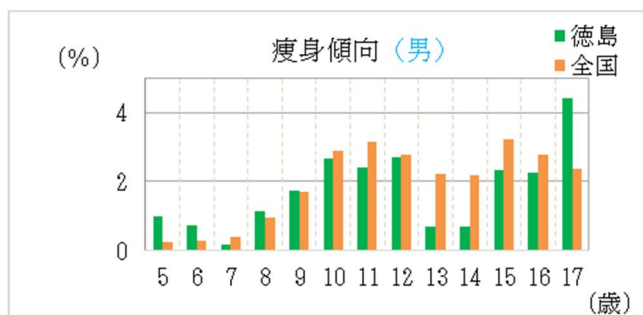
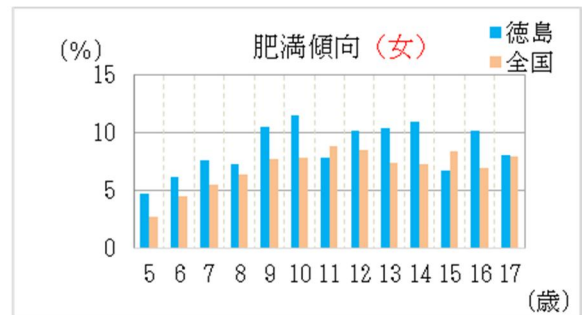
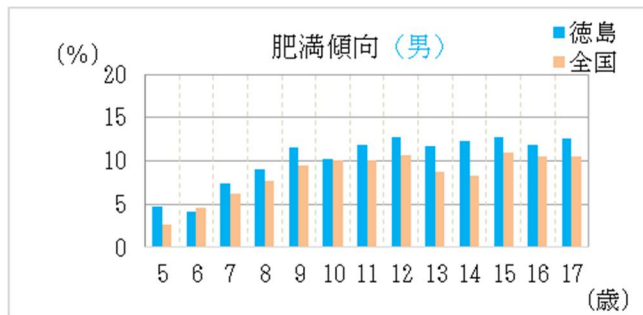
区 分		男		男		女		女	
		肥満傾向児		痩身傾向児		肥満傾向児		痩身傾向児	
		全国	徳島県	全国	徳島県	全国	徳島県	全国	徳島県
幼稚園	5歳	2.58	4.77 (2)	0.27	0.98 (4)	2.71	4.69 (8)	0.35	0.89 (5)
小 学 校	6歳	4.51	4.16 (32)	0.31	0.73 (4)	4.47	6.12 (12)	0.63	1.06 (6)
	7歳	6.23	7.38 (16)	0.39	0.17 (34)	5.53	7.60 (10)	0.53	0.84 (7)
	8歳	7.76	9.03 (13)	0.95	1.16 (15)	6.41	7.25 (24)	1.19	1.16 (15)
	9歳	9.53	11.54 (16)	1.71	1.74 (22)	7.69	10.48 (10)	1.69	1.87 (12)
	10歳	10.11	10.22 (27)	2.87	2.67 (16)	7.82	11.52 (3)	2.65	2.64 (17)
	11歳	10.01	11.84 (13)	3.16	2.40 (38)	8.79	7.83 (35)	2.93	2.20 (33)
中 学 校	12歳	10.60	12.81 (10)	2.79	2.72 (21)	8.45	10.18 (18)	4.18	2.50 (45)
	13歳	8.73	11.69 (8)	2.21	0.71 (46)	7.37	10.36 (7)	3.32	2.72 (33)
	14歳	8.36	12.28 (2)	2.18	0.70 (47)	7.22	10.98 (5)	2.78	1.90 (30)
高 等 学 校	15歳	11.01	12.76 (16)	3.24	2.34 (33)	8.35	6.72 (44)	2.22	0.18 (47)
	16歳	10.58	11.86 (20)	2.78	2.24 (23)	6.93	10.17 (8)	2.00	2.12 (18)
	17歳	10.49	12.62 (12)	2.38	4.41 (1)	7.94	8.01 (26)	1.57	2.60 (4)

(注) 1 肥満傾向児とは、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を算出し、肥満度が20%以上の者である。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)}) / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

2 痩身傾向児とは、肥満度が△20%以下の者である。

3 ()内は、全国における徳島県の順位である。



2 健康状況

(1) 主な疾病・異常等の状況

本県における年齢別の主な疾病・異常等の割合は表4のとおりである。

また、本県における学校種別の主な疾病・異常等の割合で高いものについては表5のとおりである。小学校では、「むし歯（う歯）」の者の割合が最も高くなっており、次いで「裸眼視力1.0未満の者」となっている。中学校，高等学校では、「裸眼視力1.0未満の者」が最も高く、次いで、「むし歯（う歯）」となっている。

表4 年齢別主な疾病・異常等の割合

単位(%)

区分	裸眼視力				眼 の 疾 病 ・ 異 常	難 聴	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔			栄 養 状 態	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	ぜ ん 息
	計	1.0 未 満	0.7 未 満	0.3 未 満			耳 疾 患	鼻 疾 ・ 副 鼻 腔 患	咽 ・ 喉 異 頭 常	むし歯(う歯)							
		0.7 以 上	0.3 以 上	計						処 完 了 者	未 の 処 あ 置 者						
幼稚園 5歳	X	X	X	X	5.9	...	3.7	7.8	2.0	44.1	16.6	27.5	-	1.8	...	0.4	1.0
小 計	33.9	11.2	13.1	9.6	12.0	0.4	6.4	22.4	9.2	49.1	24.8	24.3	1.8	3.2	2.6	1.7	3.3
6歳	21.8	14.7	6.1	1.1	8.7	0.7	9.2	18.7	16.4	45.8	17.6	28.2	0.8	3.0	2.6	1.0	3.4
7歳	21.3	10.6	7.7	3.0	9.2	0.4	7.1	14.6	4.1	53.3	23.1	30.2	1.3	3.3	...	0.6	3.7
8歳	30.1	11.8	11.9	6.4	X	0.2	5.0	X	14.0	54.7	25.9	28.8	2.0	3.5	...	1.3	3.1
9歳	37.4	11.2	14.1	12.1	10.0	...	5.2	X	9.1	58.0	33.4	24.6	1.9	3.5	...	2.0	3.0
10歳	42.8	8.9	17.8	16.2	11.9	0.1	5.5	17.6	4.6	45.5	25.7	19.8	2.9	2.8	...	1.5	3.1
11歳	49.2	10.0	20.7	18.5	X	...	6.1	X	7.3	37.4	22.8	14.6	1.8	2.9	...	3.6	3.3
中 計	58.6	8.5	17.2	32.9	7.0	0.3	2.2	17.4	0.6	42.9	25.4	17.5	1.7	3.3	2.4	5.4	2.0
12歳	46.9	9.6	15.6	21.7	11.4	0.3	5.0	13.9	1.5	40.1	24.1	16.0	1.8	3.5	2.4	5.3	2.7
13歳	61.2	7.6	16.1	37.5	5.7	...	0.7	16.3	0.2	43.5	24.1	19.4	1.5	3.3	...	6.0	1.7
14歳	66.7	8.5	19.6	38.7	4.1	0.3	0.9	X	0.1	44.9	27.9	16.9	1.8	3.3	...	4.9	1.6
高 計	64.2	9.5	17.1	37.6	4.9	0.2	2.5	13.3	1.1	51.9	30.2	21.7	2.9	2.4	4.3	2.0	2.5
15歳	64.1	8.4	19.2	36.5	9.6	0.2	4.6	15.3	1.1	45.6	26.3	19.2	3.3	2.4	4.3	2.7	2.2
16歳	62.0	X	X	X	2.7	...	1.5	X	1.1	52.3	31.0	21.3	2.6	2.4	...	1.9	2.8
17歳	66.4	9.6	15.8	41.1	2.6	0.2	1.5	X	1.1	57.6	33.2	24.5	2.7	2.4	...	1.4	2.4

(注) 1 この表は、定期健康診断受検者のうち疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者）の占める割合を示したものである。

- 2 「 - 」 ... 該当者がいない場合
「 0.0 」 ... 係数が単位未満の場合
「 ... 」 ... 調査対象とならない場合
「 X 」 ... 疾病・異常被患率等の標準誤差が5%以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満又は回答校が1校以下のため統計数値を公表しない。

表5 学校種別主な疾病・異常等の割合

単位(%)

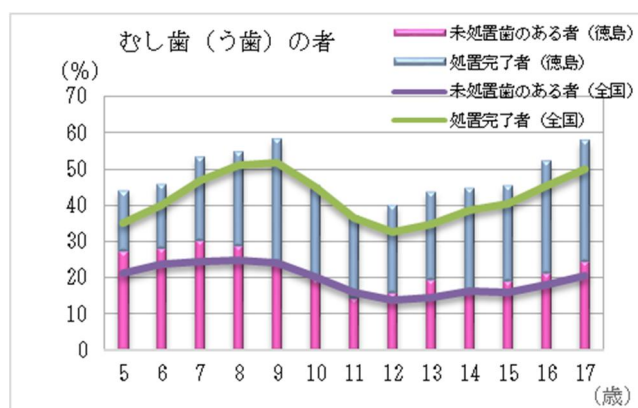
幼稚園			小学校			中学校			高等学校		
区分	徳島	全国	区分	徳島	全国	区分	徳島県	全国	区分	徳島県	全国
むし歯(う歯)	44.1	35.1	むし歯(う歯)	49.1	45.3	裸眼視力1.0未満	58.6	56.0	裸眼視力1.0未満	64.2	67.1
鼻・副鼻腔疾患	7.8	2.9	裸眼視力1.0未満	33.9	34.1	むし歯(う歯)	42.9	35.4	むし歯(う歯)	51.9	45.4
歯列・咬合	6.7	3.8	鼻・副鼻腔疾患	22.4	13.0	鼻・副鼻腔疾患	17.4	11.0	鼻・副鼻腔疾患	13.3	9.9
眼の疾病・異常	5.9	1.6	眼の疾病・異常	12	5.7	眼の疾病・異常	7.0	4.9	歯肉の状態	5.2	4.3
耳疾患	3.7	2.3	歯・口腔その他の疾病	9.6	6.7	歯垢の状態	5.7	4.7	眼の疾病・異常	4.9	3.9
						歯肉の状態	5.7	4.1			

※全国の数値は小数点2位を四捨五入している。

(2) 疾病・異常等の割合の全国平均との比較

ア むし歯(う歯)の者の割合

全ての年齢において、むし歯(う歯)の者の割合(処置完了者を含む。)が、全国平均を上回っている。

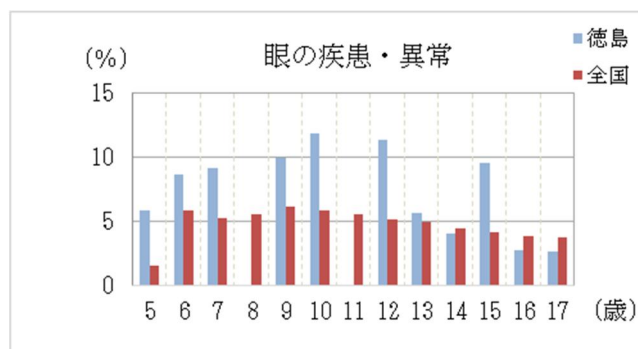


イ 眼の疾病・異常の者の割合

14歳、16歳、17歳を除く全ての年齢において、疾病・異常者の割合が全国平均を上回っている。

本県の割合は、9歳、10歳、12歳で10%以上となっている。

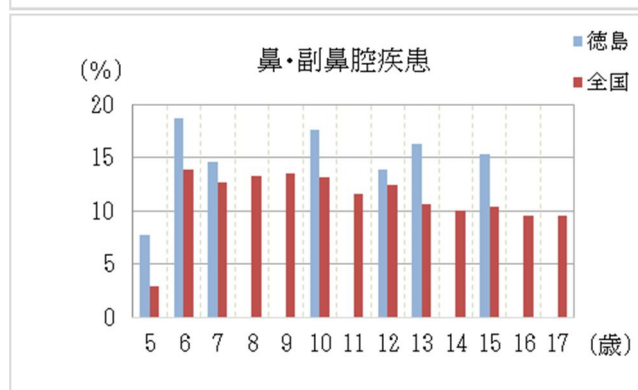
(8歳、11歳の本県の割合は非公表)



ウ 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

全ての年齢で疾患のある者の割合が全国平均を上回っている。本県の割合は、6歳、10歳、13歳、15歳で15%を上回っている。

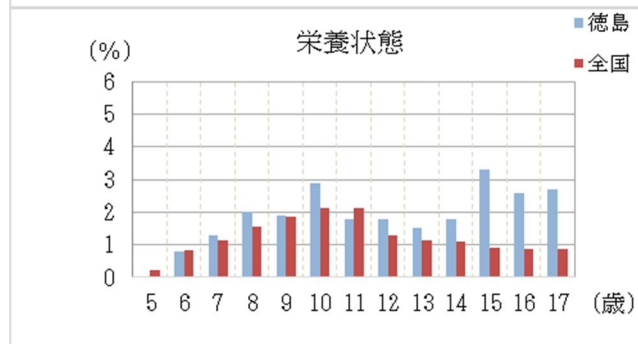
(8歳、9歳、11歳、14歳、16歳、17歳の本県の割合は非公表)



エ 栄養状態

本県の栄養不良又は肥満傾向で特に注意を要すると判断された者の割合は、15歳の3.3%が最も高い。

5歳、6歳、11歳を除く全ての年齢において全国平均を上回っており、16歳、17歳で全国平均の約3倍、15歳で全国平均の約3.7倍となっている。



オ 裸眼視力1.0未満の者の割合

6歳, 9歳, 10歳, 11歳, 13歳, 14歳で
全国平均を上回っている。

本県の裸眼視力1.0未満の者の割合は,
14歳の66.7%が最も高い。

(5歳の本県の割合は非公表)

